

旧嵯峨侯爵邸庭石

郷土博物館の敷地は、もと嵯峨侯爵邸の邸宅でした。侯爵の孫頼活は、「清州国皇帝」徳川の第29代に嫁ぐことになり、昭和12年4月8日この祖父の住まいから、普通の住民に戻られ、結婚式場へと出立しました。当時を偲ぶものはもう何も残っていませんが、唯一この庭石だけが、ほぼ元位置を保って往時を伝えています。

(詳しくは「愛知県博物館 図録」をご覧ください)